令和４年度

ブロック別研修会の取組　実践発表

～高岡南ブロック　中土佐町立久礼保育所～

１　所の概要

○園児数１１０名､クラス数１１、職員25名

○めざす子ども像

・情緒の安定した子ども
・遊び込める子ども
・人の話が聞ける子ども
・自分の思いを言葉で表せる子ども
・あいさつができる子ども
・自分で考え行動できる子ども

○保育目標

・しなやかな心と体を持ち、なかまを大切にするやさしく、たくましい子どもを育てる
・子どもの意欲と主体性を育てる

2　研修目標

「子ども一人一人が主体的に遊び込める環境構成や
保育者の援助について」

3　研修目標設定の理由

園の実態

・本園の子どもたちは活発な子どもがいるが、自分の気持ちが言えない子どもがいる。また十分に遊び込めない子どももいる。

・集中して話を聞くことが苦手な子どもがいる。

育てたい力

・安心してのびのびと生活し、友だちと関わりながらじっくり遊ぶ体験を通し自ら主体的に考え遊びや活動ができる力を育てたい。

具体的な取り組み

・子どもたちが主体的に遊びを展開させていける環境構成や保育士の援助について研修をし、理解を深める。

4　年間取組内容

◆4月・・・1年間の研修の方向性について
◆5月・・・4歳児保育と協議
◆6月・・・5歳児保育と協議
◆7月・・・3歳児保育と協議
◆8月・・・4歳児保育と協議
◆9月・・・2歳児保育と協議
◆10月・・・1歳児保育と協議
◆11月・・・公開保育・研究協議(2・3・4・5歳児)
◆12月・・・公開保育の反省を受けて
◆1月・・・親育ち支援研修
◆2月・・・13ブロック交流会への参加
◆3月・・・次年度に向けての計画作り

5　成果

①子どもの姿の変容

- 今日は何をして遊ぶか自分で決めることができるようになった。
- 自分たちで素材を工夫しおもちゃを手作りするようになった。
- 自分から友だちを誘ったり、異年齢の友だちにルールを伝えようとする姿が見られるようになった。

写　真

5　成果

②研修体制に関わる内容

- 園内研修を通して職員全員が子ども理解を深めることができた。
- 保育室および園庭の環境を園全体で見直し工夫することができた。

写　真

5　成果

③保育者の意識や保育実践の変容

- ●子どもが遊びを十分に楽しめる時間を確保する。
- ●園内研修で学んだ事をすぐに保育で実践する。
- ●子どもの興味・関心を大切にする。
- ●子どもと一緒に遊ぶ楽しさを共有する。

写　真

5　成果

④公開保育を行って

- 園外保育で採取した自然物を使った遊びが楽しめた。
- 他の組の子どもも興味がもてるよう、製作をテラスで行った。
- 採取したどんぐり、図鑑や絵本を展示し
どんぐりコーナーを作った。
- 室内でも自然物を使って遊べるようにした。

写　真

6　来年度に向けて

①子どもの姿から、さらに伸ばしていきたい力

★子どもの興味・関心を引き出せるような環境構成や
援助を心掛け、子どもの自主性を伸ばしていきたい。
★自分の思いを言葉にして友だちに伝えられる力
★話を聞く力

②研修体制・保育実践・保育の質に関すること

★職員同士で子どもの姿を共有する時間を設ける。
★乳児組・幼児組で集まり連絡や確認事項を共有するなど
工夫をしていきたい。
★活動の事前準備をしっかり行うようにする。